

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

Tel 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

待機児解消というものの

定員の1.24倍も子どもを詰め込む

5月の文教委員会に提出された保育課の資料を見て驚きました。46園の区立保育園の内、子どもの数が定員内に収まっている保育園は6園のみ。大半が超えており、最高の保育園は1.24倍にもなっています。待機児解消が優先されるとして定員を超えているのは、子どもの発達上決していいはずがありません。

下の表をご覧ください。46の区立保育園の内、紹介した3園が定員を大きく超えていることがわかります。以前は定員を各年齢ごとに示していましたが、今は、ご覧のように3歳未満児の定員、3歳以上児の定員と大雑りにまとめています。

定員弾力化は国の方針
安全確認して対応している

南がひどいと思ったのは、A保育園の場合、3歳未満児42人に対して実際に入園しているのは56人、1.3倍です。0才児は3対1の基準ですから子どもが12人いれば4人の保育士がいなければなりません。そこで、正規保育士の配置を質問すると、委員会室に資料をもってきていないことを理由に「詳しい内容はわからない」「待機児対策ということで国もできる限り弾力化を進めているので、安全を確認して対応している」ということでした。

しかし、保育園の職員配置がわかる資料を提出していただきたいと求め、委員会終了後にもういただきました。その内容は、以下のとおりです。

保育園	3歳未満の定員	3歳以上の定員	定員	0才児	1才児	2才児	小計	3~5才児	合計	在籍/定員
A保育園	42人	60人	102人	12人	22人	22人	56人	71人	127人	124.50%
B保育園	44人	22人	66人	9人	18人	20人	47人	22人	69人	118.20%
C保育園	36人	58人	94人	9人	14人	18人	41人	57人	98人	114.90%

正規保育士一人分の配置を派遣に置き換える

A 保育園（左の表）の0歳児は12人。本来なら正規保育士4人の配置が必要ですが、実際は3人+派遣1人と、有資格非常勤1人、無資格非常勤2人という体制で保育をしています。

	0歳児3:1	1歳児5:1	2歳児6:1
在園児数	12人	22人	22人
正規職員	3人	3人	3人
派遣	1人	1人	1人
非常勤(有資格)	1人	2人	2人
非常勤(無資格)	2人	0	0

担当課長に聞くと、保育士の採用が難しいこと、産休をとっている職員がいる

ので派遣を採用して体制をとっているという説明でした。1才児、2才児クラスにも派遣職員がいるのはそれぞれ産休者がいるようです。女性の多い職場ですから仕方ないですね。

待機児解消のためやむなしでいいのか

しかし問題は、正規職員で配置できない実態があるのに、国の方針だからと定員を上回って受け入れていきますがいいのでしょうか。

区は、保育室の広さに見合っって受け入れているのでオーバーしていても問題ない——と言います。

しかし、職員配置も保育室の広さなどの基準もすべて「最低基準」でしかありません。最低の基準に合っているからということでは「問題ない」とは言えないと思います。子どもにとって最

善の利益こそ大事にしたいと思えます。

羽田新ルート問題は品川区民にとって最大の関心事です。

ところが、区議会では品川上空の飛行は止めてほしいという区民の願いに反する立場に立つ意見が残念ながらあります。

5月16日の行革委員会では、資産価値が議論になり、公明党議員が、

『上空飛行と資産価値低下の因果関係はあるのか』と質問し、「まことしやかに不動産価値が下がるというような情報、不安をおおる言動をされている・・・」品川区の物件が下がるという報道もあったので、区として何かの反応はしないのか「意図的に誤ったことを伝えていれば区民の不安を軽減するがある」と発言。

おやっ！ どっちが本音？

一方、都議会では、同じ公明党議員（品川選出）が「不動産価格が下落してしまうのではないかという声が寄せられており、地元品川区から選出されている議員としては大変に憂慮をしている」「しっかりと対策を講じるように国に要望を求めると都議会でも質問しています。

区議会と都議会での発言を聞くと、公明党としては資産価値の低下・不動産価格の下落についてどういう立場なのかかわからなくなりました。議員は住民代表ですから、住民の不安を受け止めて都や区に住民の声を届ける役割に徹するべきです。



